

# 令和5年度 学校評価報告書

学校番号( 59 ) 長崎市立( 香焼小 )学校

## 1 教育目標

笑顔いっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい  
 ～気力・体力・学力 3つの力持ちになろう～ チーム香焼 やればできる・伸びる

## 2 学校経営方針

生きぬく力を持った子ども  
 ～学びの中で夢を抱き 夢の実現に向けて 努力する子ども～

## 3 重点目標

社会性の育成と学力保障  
 ～認め合い 高め合い 励まし合う 学校～

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	97	89	100	教育目標の達成以下、すべての項目においてほぼ9割以上の肯定的評価となっている。校務分掌及び業務改善においては、校務のバランス及び効率化に力を入れていく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	94	96	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			73	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			73	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	91	74	64	ルールやマナーについては、児童の評価は高いが、保護者・教職員の評価が低くなっている。悩みへの相談といじめ防止は、児童の評価が高く、教職員の取り組みの成果が表れているといえる。人権・平和に対する児童の評価も高く、意識の高さが感じられる。特別支援教育に対しては、特支学級担任や通級担当との連携、具体的な支援等が認められているものと考えられる。
		挨拶をよくしている	95	83	64	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	82	83	82	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	98	90	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	95	89	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	98	85	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	79	64	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	99	85	91	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	98	90	100	わかりやすい授業については、9割以上の高評価で、教師が個別最適な授業のため努力している様子が窺える。自立に向けての指導で児童と保護者の評価が高いのに対し教職員の評価が低いのは捉え方の違いではないか。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	96	90	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	92	81	82	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	98	100	72	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		96				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	94	93	100	衛生管理については、コロナの5類移行によって対策が軽減されたが、評価は高いままとなっている。早寝・早起き・朝ごはんは家庭による個人差が結果に出ている。学校保健委員会を中心にさらなる啓蒙活動に努めたい。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	90	75	82	
		体力向上に努めている	91	75	91	
	食育	食に関する教育活動を行っている	90	87	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	98	89	100	安全管理、情報提供、PTAや地域との連携とも高い評価を得ている。学校目標の中心に安全安心を据えた取組が理解されているものと考えられる。学校・学級通信の充実、tetoruの活用は情報の適切な提供となっている。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	100	84	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている		96	91	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			82	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	95	80	82	環境の整備は、校舎や体育館の補修面ではかなり進んだ。働きやすさへの配慮は更に高めたい。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			82	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

『学校経営』においては、学校教育目標を柱として、「笑顔・元気・やる気」をもった児童が着実に育っている事実が共通理解されていることが今年度も成果といえる。課題としては、校務分掌の責任は明確で確実に遂行されているが、負担の偏りがなくいかにさらに見直しをする必要がある。『心の教育』の成果としては、「生命や人権」を尊重する児童が育っているという評価のとおり、全体として思いやりのある児童が多く、根深いいじめ等の事案は発生していない。いじめ防止や悩みへの対応も児童の95%以上が評価しており、安心して学校に通っている様子がうかがえる。『確かな学力』では、「家庭学習の習慣」についての評価が、保護者・教職員で少し低くなっている。個人差、学級差も認められるため、「香焼スタンダード」を活用した取組の徹底を進めていきたい。『健やかな体』では、「保健・衛生」「食育」が高評価となっている。これはメディアコントロール等の取組や各学級での栄養教諭の指導等が充実していたためと考えられる。課題は「体力向上」において、コロナ禍で体育的な行事が削減されたままであることを、今後どうフォローしていくか考える必要がある。

## 6 学校関係者評価

・小学生のあいさつが上手でなくなった。あいさつをしても目をそらす子もいる。中学生のほうが上手になってきた。・尾上地区の4年女子の振る舞いが気持ちよい。元気なあいさつや車が止まってくれた時の「ありがとう」の声と一礼。個人差が大きいので、良い例を紹介しながら、各学年で指導されるといいのではないかと。・公園で遊ぶ男子児童たちが、走り回るでもなく、ゲーム機で遊んでいる。別の公園では、ボールなどを投げて遊んでいるので「海に落ちて取りに行ったらだめよ」と声をかける。「はい」と素直に返事をする。公園での遊び方を学校で確認してはどうか。・イノシシの目撃情報が多い。教会から運動公園に向う道の途中の藪に住み着いている。自動車との接触事故もある。昼間に出てくることもあるので、学校でも指導してほしい。・大谷グローブの使い方はどうか。・新型コロナウイルスの状況はどうか。・学校は、交通ルールを守ることもしっかり指導していただいていると思うが、地域での子供の行動をみるとまだまだ十分に身につけているとはいえず、危険な場面を多々目にする。地域でもその都度注意していこうと思う。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・4年女子児童の行動を紹介し、全体や学級などの場で地域でのあいさつや礼儀についての指導を行いたい。・公園での遊び方は、都度都度指導している。地域からの情報提供もあり、教職員が現場に向かって直接指導したこともあった。学級での生活指導や道徳の授業と地域での言葉かけを続け、状況を改善したい。・イノシシについては、他の町でも目撃情報が伝わっている。本校でも、学校近くの工場前に大型のイノシシが出現したとの電話があった。大変危険なので、子どもたちへの注意喚起を継続していく。・大谷グローブは各学級で全員が使用し、キャッチボールを行った。昼休みの活用については検討中である。・新型コロナウイルス感染症は、ポツポツ出ているが、学校内での感染はないと考えられる。換気、手洗い、うがいなどの感染対策を行っている。・今後も学校関係者の皆さまや地域の方々のご意見に耳を傾けながら、協力し合い、子どもたちのより良い成長に尽力していきたい。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。